

① 授業の目標

大学の学びとは先生から与えられた課題をこなすことではなく、自分で課題を見つけ、考え、それを解決するための方法を身につけることです。この授業は少人数クラスで、身近な徳島の町を観察する所から一人一人の課題を発見し、それを客観化して、分析し、他人にアピールする事を学ぶ授業です。目標は自己の感性磨きそれを客観的に表現することが出来るようにすることです。

② 授業の概要

何気なく見ている徳島の街かからも何か感じることはあるはずです。同じものを見ても注目するところは人によります。それを見つけることを課題発見能力と言います。それだけでは主観でしかなく課題は課題のままです。それを客観化するためには、その課題について調査を行い、資料を集め、考察することが大事です。その上で、結果や資料を踏まえ説明することが必要です。これを問題解決能力と言います。なぜそれが気になるのかを客観的に見て、色々調べてそこからその課題が多くの人に意味があることと訴えかけられたら、それがプランニングや研究という仕事につながって行きます。感性を客観化し人に訴えかけるという学問の基本を身近なところでトレーニングする授業です。報告書を作成の作業を通じてチームで作業を行う事を通じてチームワークで作業する力を身につけてもらいます。

③ 授業の計画

- 1 ガイダンスー授業の進め方
- 2 調査報告1 徳島新発見 ー徳島のナニコレを見つけて紹介する。
- 3 調査報告2 徳島新発見 ー徳島のナニコレを見つけて紹介する。〈続〉
- 4 調査報告の検討 ー課題をどのように解決したらよいかを考える(課題解決へ)
- 5 文献資料等の調査 ーどの資料を使ったら課題が明確になるのか調べる
- 6 資料調査結果の報告1 ー何を調べ、何が明らかになったかの報告と議論
- 7 資料調査結果の報告2 ー何を調べ、何が明らかになったかの報告と議論〈続〉
- 8 全員での実地調査1 ー担当者が現地で説明、全員で確認、意見交換
- 9 全員での実地調査2 ー担当者が現地で説明、全員で確認
- 10 調査結果の討論 ー問題点の整理とテーマ毎にグループを作る。
- 11 グループ討論 ー報告書作成に向け各グループで討論
- 12 各グループで再調査 ー不足している情報や報告書に必要な写真等を調査
- 13 グループ毎の報告
- 14 報告書に作成に向けての全体討論と作成準備
- 15 報告書作成
- 16 残された課題についての検討

③ 受講者へのメッセージ

平常の授業での発表や、他の人の発表に対する討論への参加、グループ内でのリーダーシップや協力関係が重要です。従って、授業には必ず出席し、発表や討論には積極的に参加し、チームワークをはかって下さい。